

ご挨拶

第81回日本公衆衛生学会総会
学会長 山 縣 然太郎
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授
山梨大学大学院総合研究部附属出生コホート研究センター長

第81回日本公衆衛生学会総会を2022年10月7日（金）から9日（日）に山梨県甲府市で開催するにあたり、皆様にご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミックの健康危機の中、住民の命を守るために果敢に立ち向かい、日々ご尽力された皆さまに心から敬意を表します。COVID-19対策のみならず、自粛生活や経済の停滞による自殺の増加やコロナフレイル、受診控えによる疾患の増悪などの Countervailing Risk（対抗リスク）の対策に、住民と一体となって多職種連携で地道に取り組まれていることに、公衆衛生活動の本質を見る思いです。

本総会のテーマは「公衆衛生イノベーション—原点確認，変革推進—」です。

モバイル情報通信機器が生活必需品となり、人工知能（AI）が社会システムに組み込まれる中、健康情報の利活用はこれからの健康政策の基盤です。また、生命科学の急速な進歩により、ゲノム科学は創薬、がんゲノム医療、ワクチン開発を実現し、脳科学や再生医療は革新的な医療の未来を描いています。これらの科学技術イノベーションに公衆衛生はどのように向き合うのかが問われています。COVID-19禍で顕著化した健康政策の課題の解決のために、新たな視点、新たな手法を用いた公衆衛生活動の変革が必要です。そのためにも、あらためて公衆衛生活動の原点に立ち返って本質を見失うことなく、公衆衛生専門家の矜持をもって、「公衆衛生イノベーション」に取り組む時がきたのではないのでしょうか。

コロナ禍で開催された京都、東京の総会で培った新たな学会のあり方を学び、オンラインとリアルそれぞれの利点を生かしたハイブリッド形式で開催いたします。現地で参集することで実現する特別企画を用意いたします。

本総会の80年を超える歴史の中で、山梨県での開催は初めてです。山梨県の公衆衛生関係者がオールやまなしで、会員の皆様をあたたくお迎えし、公衆衛生の未来を活発に議論できる場を提供いたします。あわせて、日本一の富士山、幻の魚が棲む富士五湖、日本遺産の昇仙峡、豊かな森と眺望に恵まれた八ヶ岳南麓の清里、日本屈指の名湯を巡り、世界に誇る甲州ワイン、日本一の収穫量ぶどう、信玄が愛したほうとう、B-1グランプリ優勝の鳥もつ煮を召し上がって、山梨県の魅力を堪能していただきたいと思います。

第81回日本公衆衛生学会総会（山梨）のご案内〈第一報〉

1. 会 期
2022年10月7日（金）～10月9日（日）
2. 会 場
YCC 県民文化ホール（山梨県甲府市寿町26-1）
山梨県立図書館（山梨県甲府市北口2丁目8-1）
山梨県防災新館（山梨県甲府市丸の内1-6-1）等
3. 名誉学会長・名誉顧問・学会長・副学会長・監事
名誉学会長：長崎幸太郎（山梨県知事）
名誉顧問：樋口雄一（甲府市市長）
学会長：山縣然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授）
副学会長：今井立史（山梨県医師会会長）
副学会長：成島春仁（山梨県福祉保健部部長）
副学会長：久保田幸胤（甲府市福祉保健部部長）
顧問：島田眞路（山梨大学学長）
監事：小俣達也（山梨県福祉保健部福祉保健総務課課長）
監事：高野 誠（甲府市福祉保健部福祉保健総室総室長）
4. メインテーマ
公衆衛生イノベーション ―原点確認，変革推進―
5. プログラム（予定）
学会長講演，特別講演，教育講演，市民公開講座，シンポジウム，奨励賞等受賞講演，
一般演題，国際セッション，感染症リスクアセスメント研修会，ランチョンセミナー，
スポンサードセッション，自由集会，会員総会，意見交換会，各種展示等
6. 学会総会ホームページ
<http://jsph81.umin.jp/>
7. 事務局
事務局（実行委員会，学術部会含む）：
山梨大学大学院総合研究部医学域 社会医学講座内
運営事務局：株式会社コンベンションアカデミア内
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-35-3 本郷 UC ビル 4 階
TEL：03-5805-5261／FAX：03-3815-2113
Email：jsph81@coac.co.jp
8. 各種申込期間（予定）
公募シンポジウム募集期間 2022年3月15日（火）～4月15日（金）
演題募集期間 2022年4月5日（火）～5月31日（火）
事前参加登録期間 2022年4月5日（火）～8月31日（水）
9. 今後の情報
日本公衆衛生学会雑誌69巻2号および学会総会ホームページ（上記）で順次お知らせ致します。